

鹿児島県漁海況週報

平成30年4月5日発行(3月29日～4月4日)
第2749報(旧暦:2月13日～2月19日/月齢11.6～17.6/潮汐:中潮～中潮)



鹿児島県水産技術開発センター
〒891-0315 指宿市岩本字高田上160番10号
TEL:0993-27-9212, FAX:0993-27-9218

【海況】

○黒潮北縁域(薩南～トカラ群島海域)

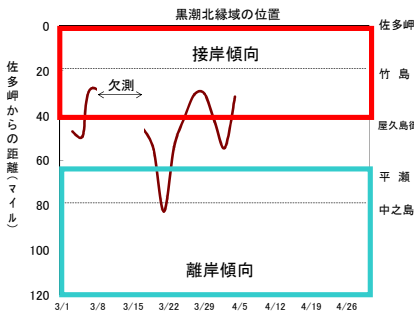
黒潮北縁域は、4月4日現在、屋久島御崎の北9.4マイル付近にあり、接岸している。

○黒潮流軸(種子島東)

種子島東の黒潮流軸は、4月3日現在、54マイル付近にある。

○定期船等による表面水温

各海域の表面水温は、先週と比較して、竹島、笠利崎で0.3～0.6℃降温し、与路島、与論で変わらず、その他の海域で0.3～4.4℃昇温した。平年比較では、竹島、与論で“平年並”、笠利崎で“やや高め”、黒潮流域、佐多岬、中之島で“かなり高め”、その他の海域で“著しく高め”となった。



表面水温℃

定点名	実測値	先週比較	平年比較	評価
黒潮流域	24.2	+0.8	+1.0	かなり高め
鹿児島	21.6	+4.4	+4.3	著しく高め
佐多岬	20.8	+2.1	+1.9	かなり高め
竹島	21.0	-0.3	+0.6	平年並
屋久島御崎	23.5	+0.3	+2.4	著しく高め
中之島	23.9	+0.7	+1.4	かなり高め
笠利崎	22.2	-0.6	+0.5	やや高め
与路島	22.5	+0.0	+1.2	著しく高め
与論	21.8	+0.0	+0.2	平年並
甕海峡	21.6	+2.1	+3.7	著しく高め

鹿児島一那覇定期客船観測は4/2-5
串木野一甕定期客船観測は4/4

【漁況】

○定置網

甕島海域では、週計でフリ(4～12kg)が2.5トン、イサキ(0.5～1.5kg)が800kg、ゴマサハ(100～500g)が560kg、マサハ(100～500g)が370kgの入網。西薩南部海域では、フリ(3～4kg)が多い日で2000尾の入網。鹿児島湾口部薩摩半島側では、フリ(6～8kg)が0.5～1.1トン/日、ハマフエフキ(1.7～2.2kg)が1日のみ500尾、マサジ(50～300g)が250～400kg/日、ハカツオ(1.3～1.8kg)が1日のみ400kgの入網。鹿児島湾口部大隅半島側では、ゴマサハ(400～800g)が1～5トン/日の入網。大隅半島東部海域では、週計で52統がサハ類中、フリ、マサジ小主体に120トン/日の入網。志布志湾南部海域では、週計でサハ類、マサジ、カクチイワシ主体に31トン/日の入網。

○キビナゴ刺網

甕島海域では、2～7箱/隻・日の漁。西薩南部海域では、10～15箱/隻・日の漁。鹿児島湾口部大隅半島側では、15～20箱/隻・日の漁。

(まき網、棒受網、カツオ羊釣の漁況は下記の表に記載しています。)

業種別・漁港別水揚げ状況

漁業種類	漁港	隻数	漁獲量(トン)	漁場	魚種組成(%)	※前年同期(第2699報)				
						1日1統	前週隻数	前週漁獲量	前年同期隻数	前年同期漁獲量
旋網	阿久根	大	148	縄瀬	サハ類中81 サハ類大12	147.7	3	61	1	112
		中	85	縄瀬 甕西 甕東	サハ類中75 サハ類小7 サハ類大5	16.9	12	79	14	274
	枕崎	大	0	—	—	—	4	260	8	622
		中	3	67	内之浦沖	マサハ小62 マサハ中小34	22.2	16	260	23
	内之浦	中	0	—	—	—	0	—	0	—
	山川	中	0	—	—	—	0	—	0	—
計	大	1	148	—	—	147.7	7	321	9	734
	中	8	151	—	—	18.9	28	339	37	1245
東海旋網	阿久根	0	—	—	—	—	0	—	0	—
	枕崎	0	—	—	—	—	0	—	0	—
棒受網	阿久根	0	—	—	—	—	29	38	24	52
	内之浦	0	—	—	—	—	0	—	0	—
定置網	内之浦	52	120	—	サハ類中40 フリ28 マサジ小10	2.3	49	173	52	154
刺網	阿久根	42	3	甕 牛深沖	キビナゴ100	0.1	48	6	43	4
カツオ羊釣	枕崎	大	186	—	カツオ中77 カツオ大19	185.6	0	—	0	—
		小	0	—	—	—	0	—	0	—
	海旋	1	1040	—	カツオ中51 カツオ小37 キハダ8	1,040.3	3	2128	1	754
		1	2	—	キハダ89 ソウダカツオ類7	2.4	2	12	0	—
	海外旋網	山川	1	741	—	カツオ小61 キハダ26 マハチ6	741.1	1	496	2

○トビウオロープ曳網

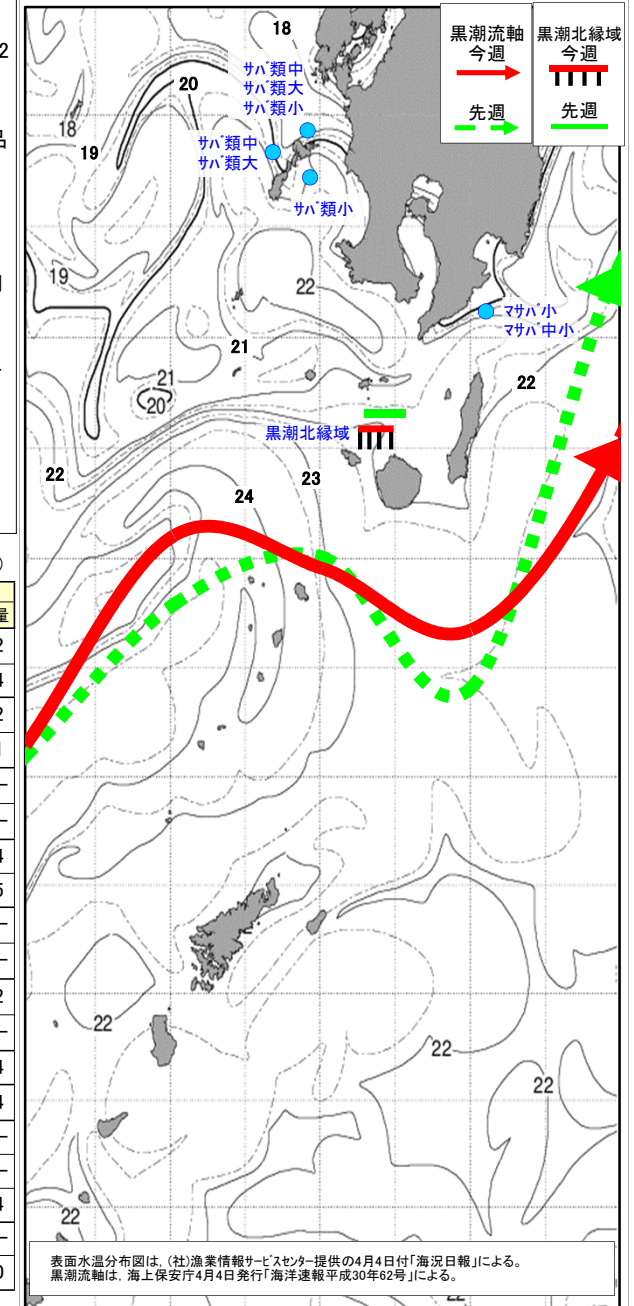
種子島海域では、大トビを3500尾/統・日の漁。屋久島海域では、大トビを22～112箱/統・日、中トビを2～9箱/統・日の漁。

○パッチ網

西薩海域では、生で1.5トン/隻・日の漁。また、製品で9トン/隻の入札があった。志布志湾海域では、製品で21トン/隻の入札があった。

○その他

西薩海域では、ごち網でマダイ(0.8～3kg)を20～150kg/隻・日の漁。一本釣りでカンパチ(1kg)を多い日で60尾の漁。底曳網でツキヒカイ(70～80g)を200kg/隻・日の漁。西薩南部海域では、底曳網でヒゲナカエビを300～600kg/隻・日の漁。鹿児島湾口部大隅半島側では、一本釣りでハカツオ(1.5kg)を週計で360kgの漁。志布志湾海域では、刺網でヤマトカマス(100～200g)を150kg/隻・日の漁。奄美南部海域では、一本釣りでハマダイ(5～7kg)を10尾/隻・日、チカキントキ(1kg)を30kg/隻・日の漁。



表面水温分布図は、(社)漁業情報サービスセンター提供の4月4日付「海況日報」による。
黒潮流軸は、海上保安庁4月4日発行「海洋速報平成30年62号」による。